

静岡理科大学 給費型奨学生制度（返還義務なし）

入学者選抜の成績が特に優秀な受験生に対し、奨学奨励を目的として、授業料免除等の特典が与えられる奨学生制度です。
 昨年度は合格者のうち **483名** が給費の対象になり、多くの学生が自助努力で奨学費を獲得できる制度を用意しています。

○入学者選抜における給費奨学生採用区分と対象選考・採用人数枠

<p>☆授業料 100 万円給費奨学生 授業料サポート 100</p> <p>最大 4 年間 400 万円給費 (継続条件:在籍学科の成績上位 20%以内で年度更新)</p> <p>対象選抜: 一般前期 (A), 一般前期 (A) 共通テストプラス、 前期共通テスト利用 (S)・(A) の成績優秀者として成績上位の者を採用 最大 30 名</p>	<p>☆授業料 50 万円給費奨学生 授業料サポート 50</p> <p>最大 4 年間 200 万円給費 (継続条件:在籍学科の成績上位 25%以内で年度更新)</p> <p>対象選抜:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門高校・総合学科給費奨学生推薦 3名以内 ・給費奨学生推薦 3名以内 ・前期共通テスト利用 (S) (出願締切-大学入学共通テスト前) の合格者の内、合計得点率 60%以上の者に適用 人数制限なし ・前期共通テスト利用 (A) (出願締切-大学入学共通テスト後) の合格者の内、合計得点率 65%以上の者に適用 人数制限なし <p>★データサイエンス専攻のみ中期・後期共通テスト利用 (A) も対象</p>
<p>☆入学金 30 万円給費奨学生 入学金サポート</p> <p>入学手続時のみ</p> <p>対象選抜: 専門高校・総合学科給費奨学生推薦 10名以内 給費奨学生推薦 10名以内</p>	<p>☆入学応援金 10 万円給費奨学生 入学応援給費</p> <p>入学手続時のみ</p> <p>対象選抜: 前期共通テスト利用 (S)・(A) の合格者の内、 合計得点率 55%以上の者に適用 人数制限なし</p>
<p>－給費奨学生チャレンジ制度－</p> <p>指定校推薦・給費奨学生推薦などの学校推薦型選抜や総合型選抜の合格者が、入学の権利を保持した(入学手続完了者の)まま、給費奨学生の対象選考(一般前期 (A), 一般前期 (A) 共通テストプラス, 前期共通テスト利用 (S)・(A)) にチャレンジできる制度を導入しています。</p>	

○入学検定料 と 検定料割引制度 (基本パターンを表記, 詳細については必ず入学者選抜要項または本学 Web サイトでご確認ください)

- 【本学選抜グループ】初回 30,000 円 2 回目・複数学科以降 5,000 円 (2022 年度生実績, 2023 年度生については金額が変更になる場合があります)
総合型選抜, 学校推薦型選抜の各種別, 一般選抜のうち(一般前期・一般中期・一般後期)及び(一般前期・一般中期・一般後期の各共通テストプラス)の各 (A), (B) 種別
- 【共通テストグループ】20,000 円(複数学科・種別, 複数回受験による追加検定料なし) (2022 年度生実績, 2023 年度生については金額が変更になる場合があります)
一般選抜のうち, 前期共通テスト利用 (S) と前期・中期・後期共通テスト利用の各 (A), (B) 種別

○静岡理科大学 初年度納付金 (基本額, 2022 年 4 月入学生実績)

納付金の種類	前期	後期	年間計
入学金	300,000 円	-	300,000 円
授業料	620,000 円	620,000 円	1,240,000 円
計	920,000 円	620,000 円	1,540,000 円

2 年次以降の年間授業料は, 2 年次 1,250,000 円, 3 年次 1,260,000 円, 4 年次 1,270,000 円となります。

初年度は左記初年度納付金の他, 代理徴収金として後援会費 15,750 円 (1 年間分), 学生教育研究災害保険料 4,660 円 (4 年間分), 応用ソフトウェア代 4,740 円 (1 年間分) 合計 25,150 円を徴収します。

2023 年度生については納付金額が変更になる場合があります。

静岡理科大学 2023 年度生 入学者選抜概要

2022 年 7 月版

■募集定員

*募集定員は変更になる場合があります。***他は社会人, 帰国生徒いずれも後期のみ募集

選抜区分 選抜種別	募集 定員*	学校推薦型選抜				総合 型選 抜	一般選抜									特別 留学生 他***	
		指定校 推薦	専門 給費 奨学生	公募制 推薦	給費 奨学生 推薦		一般入学者選抜			一般入学者選抜+ 共通テストプラス			共通テスト利用 入学者選抜				
							前期 (A) (B)	中期 (A) (B)	後期 (A) (B)	前期 (A) (B)	中期 (A) (B)	後期 (A) (B)	前期 (S) (A) (B)	中期 (A) (B)	後期 (A) (B)		
理 工 学 部	機械工学科**	80	20	10	13	3	15	2	2	2	2	2	2	10	3	3	2
	電気電子工学科**	70	18	9		2	11	2	2	2	2	2	2	8	3	3	2
	物質生命科学科	60	15	6		2	8	2	2	2	2	2	2	7	3	3	2
	建築学科	50	12	4		2	6	2	2	2	2	2	2	6	2	2	2
	土木工学科	50	14	4		-	6	2	2	2	2	2	2	6	2	2	2
情 報 学 部	※学部一括募集	140	44	16	4	26	2	2	2	2	2	2	26	3	3	2	
	内, データサイエンス専攻	(15)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(S)(A) (12)	(A) (1)	(A) (1)	-	
合計	450	123	13	49	13	13	72	12	12	12	12	12	12	63	16	16	12

**学習に関する条件: ・機械工学科-本学入学までに「数学Ⅱ」相当及び「物理」を学習していること ・電気電子工学科-本学入学までに「数学Ⅱ」相当を学習していること

静岡理科大学 2023 年度生 入学者選抜概要

2022年 7月版

■入学者選抜日程（総合型選抜は別紙参照のこと）

入学者選抜種別	出願期間	出願書類締切日	試験日	合格通知日
・指定校推薦 ☆専門高校・総合学科給費奨学生推薦 ・公募制一般推薦 ・公募制自己推薦	2022年11月1日（火）～11月10日（木）	11月10日（木）	11月19日（土）	12月1日（木）
☆給費奨学生推薦	2022年11月28日（月）～12月8日（木）	12月8日（木）	12月17日（土）	12月23日（金）
☆一般前期（A） ☆一般前期（A）共通テストプラス ・一般前期（B） ・一般前期（B）共通テストプラス	2023年1月6日（金）～1月22日（日）	1月25日（水）	2月3日（金）* 2月4日（土）* 2月5日（日）*	2月16日（木）
☆前期共通テスト利用（S）	2023年1月6日（金）～1月13日（金）	2月6日（月）	-	2月16日（木）
☆前期共通テスト利用（A）	2023年1月6日（金）～1月29日（日）	2月6日（月）	-	2月16日（木）
・前期共通テスト利用（B）	2023年1月6日（金）～1月29日（日）	2月6日（月）	-	2月16日（木）
・一般中期（A） ・一般中期（A）共通テストプラス ・一般中期（B） ・一般中期（B）共通テストプラス	2023年2月1日（水）～2月12日（日）	2月15日（水）	2月21日（火）	3月3日（金）
★中期共通テスト利用（A） ・中期共通テスト利用（B）	2023年2月1日（水）～2月19日（日）	2月21日（火）	-	3月3日（金）
・一般後期（A） ・一般後期（A）共通テストプラス ・一般後期（B） ・一般後期（B）共通テストプラス	2023年2月20日（月）～2月26日（日）	3月1日（水）	3月7日（火）	3月17日（金）
★後期共通テスト利用（A） ・後期共通テスト利用（B）	2023年2月20日（月）～3月8日（水）	3月10日（金）	-	3月17日（金）

*一般前期の試験会場は2月3日（本学）、4日・5日（本学・沼津・静岡・名古屋）となります。

☆印は「給費奨学生」対象入学者選抜 ★は「データサイエンス専攻」のみ「年間50万円給費奨学生」対象入学者選抜

■学校推薦型選抜【両学部共通】の各入学者選抜

入学者選抜種別	評価項目	時間	配点	備考
指定校推薦 【11月選考】	学力試験 数学基礎【数I・数A（場合の数と確率）】	60分	100点	本学が指定する高等学校を2023年3月卒業見込みの方が対象です。 該当高校進路課宛に推薦状と推薦条件を提示します。 専断ですが、12月未までに結果が判明する国公立大学学校推薦型選抜との併願を認めます。 左記試験科目の総合点により査定を行う（300点満点、建築学科のみ350点満点）
	面接（個人面接）	5分	100点	
	書類審査A（調査書 全体の学習成績の状況×10）	-	50点	
	書類審査B（推薦書 学力の3要素の記載内容について3段階で評価）	-	30点	
	活動報告書（指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入 詳細は中面参照）	-	20点	
	志望理由書（指定用紙に400字以内にまとめ提出）	-	-	
公募制一般推薦 【11月選考】	学力試験 数学基礎【数I・数A（場合の数と確率）】	60分	100点	公募制一般推薦は高等学校（中等教育学校後期課程含む）を2023年3月卒業見込みの方が対象で、在籍学校長の推薦書が必要です。 他大学と併願できます。 左記試験科目の総合点により査定を行う（200点満点、建築学科のみ250点満点）
	面接（個人面接）	5分	50点	
	書類審査A（調査書 全体の学習成績の状況×3）	-	15点	
	書類審査B（推薦書 学力の3要素の記載内容について3段階で評価）	-	15点	
	活動報告書（指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入 詳細は中面参照）	-	20点	
	志望理由書（指定用紙に400字以内にまとめ提出）	-	-	
公募制自己推薦 【11月選考】	学力試験 数学基礎【数I・数A（場合の数と確率）】	60分	100点	公募制自己推薦は高等学校（中等教育学校後期課程含む）を2023年3月卒業見込みの方と高校を卒業された方、高卒認定試験合格（見込み）者で2023年3月31日までに18歳に達する方、いずれも自己推薦書（志望理由書）が必要です。 他大学と併願できます。 左記試験科目の総合点により査定を行う（200点満点、建築学科のみ250点満点） *1「書類審査A」において評定平均値の記載がない書類（卒業証明書、成績証明書、合格成績証明書等）の場合、代わりに「書類審査C」を評価する
	面接（個人面接）	5分	50点	
	書類審査A（調査書 全体の学習成績の状況×6）	-	30点 ^{*1}	
	活動報告書（指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入 詳細は中面参照）	-	20点	
	書類審査C【自己推薦書（志望理由書 指定用紙に400字以内にまとめ提出）】 書類審査Aの評価が変わらない場合 ^{*1} に、記載内容を3段階で評価する	-	(30点) ^{*1}	
	実技試験（デッサン：①静物、②観察力 *建築学科のみ）	90分	50点	
☆専門高校・総合学科 給費奨学生推薦 【11月選考】	学力試験 数学基礎【数I・数A（場合の数と確率）】	60分	100点	専門高校や総合学科を2023年3月卒業見込みの方が対象で、在籍学校長の推薦書が必要です。 高校最終年次1学期（前期）までの 全体の学習成績の状況4.0以上 が条件です。 採用枠：授業料50万円給費奨学生3名以内（最大4年間） 採用枠：入学金30万円給費奨学生10名以内（入学手続時） 採用枠から漏れた場合は原則 指定校推薦基準で合否判定 します。 専断ですが、12月未までに結果が判明する国公立大学推薦入試との併願を認めます。 左記試験科目の総合点により査定を行う（300点満点）
	面接（個人面接）	10分	100点	
	書類審査A（調査書 全体の学習成績の状況×10）	-	50点	
	書類審査B（推薦書 学力の3要素の記載内容について3段階で評価）	-	30点	
	活動報告書（指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入 詳細は中面参照）	-	20点	
	志望理由書（指定用紙に400字以内にまとめ提出）	-	-	
☆給費奨学生推薦 【12月選考】	学力試験 数学【数I・II・A（場合の数と確率）・B（数列・ベクトル）】	80分	150点	高等学校（中等教育学校後期課程含む）を2023年3月卒業見込みの方が対象で、最終年次1学期（前期）までの 全体の学習成績の状況3.5以上 が出願条件。 左記の書類審査B・Cいずれかの書類が必要です。 採用枠：授業料50万円給費奨学生3名以内（最大4年間） 採用枠：入学金30万円給費奨学生10名以内（入学手続時） 採用枠から漏れた場合は原則 一般推薦もしくは自己推薦基準で合否判定 。 他大学との併願可。 左記試験科目の総合点により査定を行う（300点満点） *2「書類審査B」において学校推薦でない場合、代わりに「書類審査C」を評価する
	学力試験 英語【コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II】	60分	100点	
	書類審査A（調査書 全体の学習成績の状況×3）	-	15点	
	書類審査B（推薦書 学力の3要素の記載内容について3段階で評価）	学校推薦者	15点 ^{*2}	
	活動報告書（指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入 詳細は中面参照）	-	20点	
	書類審査C【自己推薦書（志望理由書 指定用紙に400字以内にまとめ提出）】 書類審査Bの評価が変わらない場合 ^{*2} に、記載内容を3段階で評価する	自己推薦者	(15点) ^{*2}	

■総合型選抜の入学者選抜概要については、別用紙での案内になります。必要な方は本学入試広報推進課までご請求ください。

静岡理工科大学 2023 年度生 入学者選抜概要

2022年 7月版

■一般選抜【理工学部】一般・共通テストプラス・共通テスト利用 の各入学者選抜

入学者選抜種別	教科・科目	時間	配点	
一般	☆一般前期 (A) [3 教科] ・一般中期 (A) [3 教科] ・一般後期 (A) [3 教科]	数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数 A (場合の数と確率)・数 B (数列・ベクトル)	80 分	150 点
		理科 【物理基礎・物理】【化学基礎・化学】【生物基礎・生物】から出願時に 1 つ選択	60 分	100 点
		外国語 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ)	60 分	100 点
	・一般前期 (B) [2 教科] ・一般中期 (B) [2 教科] ・一般後期 (B) [2 教科]	数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数 A (場合の数と確率)・数 B (数列・ベクトル)	80 分	150 点
		理科 機械工学科 【物理基礎・物理】 電気電子工学科 【物理基礎・物理】【化学基礎・化学】から出願時に 1 つ選択 物質生命工学科 【物理基礎・物理】【化学基礎・化学】【生物基礎・生物】から出願時に 1 つ選択 建築学科 【物理基礎・物理】 土木工学科 【物理基礎・物理】	60 分	100 点
		共通テスト 選択教科		
数学 数Ⅰ・数Ⅱ・〔数Ⅰ・数 A〕・〔数Ⅱ・数 B〕 から 1 つ				
理科 物理・化学・生物 から 1 つ				
共通テストプラス*	一般 (前期・中期・後期) 入学者選抜の出願時に以下の共通テスト 1 教科を選択し、その得点 (100 満点換算) を一般入学者選抜の結果にプラスして判定 ※ 2 科目受験教科の場合は高得点の科目を採用		一般〇期 + 共通 テスト 100 点	
共通テスト利用*	☆前期共通テスト利用 (S) [3 教科] ☆前期共通テスト利用 (A) [3 教科] ・前期共通テスト利用 (B) [2 教科] ・中期共通テスト利用 (A) [3 教科] ・中期共通テスト利用 (B) [2 教科] ・後期共通テスト利用 (A) [3 教科] ・後期共通テスト利用 (B) [2 教科]	共通テスト 選択教科		-
		数学 数Ⅰ・数Ⅱ・〔数Ⅰ・数 A〕・〔数Ⅱ・数 B〕 から 1 つ		
		理科 物理・化学・生物から 1 つ		
		外国語 英語 (リーディング 50 点+リスニング 50 点)・独語・仏語・中国語・韓国語から 1 つ		
		国語 近代以降の文章 * (S)・(A) の 3 教科型のみ選択可, (B) の 2 教科型は選択不可		
			各 100 点	

○上記教科・科目の総合点により判定を行う ○一般選抜の本学で課す学力試験においては従来通り記述式問題を出題する

○一般選抜において、合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評 (配点 5 点満点) と活動報告書 (提出任意, 配点 5 点満点 詳細は右記参照) を基に、多面的・総合的な評価を加えて判定する

* 大学入学共通テストの 数学, 理科において 2 科目以上を受験した場合は、それぞれ高得点の科目を判定対象とする。☆印は「給費奨学生」対象選考。

■一般選抜【情報学部】一般・共通テストプラス・共通テスト利用 の各入学者選抜

入学者選抜種別	教科・科目	時間	配点	
一般	☆一般前期 (A) [3 教科] ・一般前期 (B) [2 教科] ・一般中期 (A) [3 教科] ・一般中期 (B) [2 教科]	選択教科 数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数 A (場合の数と確率)・数 B (数列・ベクトル)	80 分	各 100 点
		理科 【物理基礎・物理】【化学基礎・化学】【生物基礎・生物】から出願時に 1 つ選択	60 分	
		外国語 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ)	60 分	
		国語 国語総合 (古文・漢文除く)・現代文 B	60 分	
	・一般後期 (A) [3 教科] ・一般後期 (B) [2 教科]	選択教科 数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数 A (場合の数と確率)・数 B (数列・ベクトル)	80 分	各 100 点
			理科 【物理基礎・物理】【化学基礎・化学】【生物基礎・生物】から出願時に 1 つ選択	
		外国語 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ)	60 分	
共通テストプラス*	☆一般前期 (A) 共通テストプラス ・一般中期 (A) 共通テストプラス ・一般後期 (A) 共通テストプラス 【一般〇期 (A) 入学者選抜+共通テスト 1 教科】	共通テスト 選択教科		-
	・一般前期 (B) 共通テストプラス ・一般中期 (B) 共通テストプラス ・一般後期 (B) 共通テストプラス 【一般〇期 (B) 入学者選抜+共通テスト 1 教科】	数学 数Ⅰ・数Ⅱ・〔数Ⅰ・数 A〕・〔数Ⅱ・数 B〕・〔簿記・会計〕・情報関係基礎から 1 つ		
		理科 物理基礎・化学基礎・生物基礎から 2 つ, または物理・化学・生物から 1 つ		
		外国語 英語 (リーディング 50 点+リスニング 50 点)・独語・仏語・中国語・韓国語		
		国語 近代以降の文章		
地理歴史 世界史 A・世界史 B・日本史 A・日本史 B・地理 A・地理 B・ ・公民 現代社会・倫理・〔政治・経済〕・〔倫理, 政治・経済〕から 1 つ				
共通テスト利用*	☆前期共通テスト利用 (S) [3 教科] ☆前期共通テスト利用 (A) [3 教科] ・前期共通テスト利用 (B) [2 教科] ・中期共通テスト利用 (A) [3 教科] ・中期共通テスト利用 (B) [2 教科] ・後期共通テスト利用 (A) [3 教科] ・後期共通テスト利用 (B) [2 教科]	共通テスト 選択教科		-
	数学 数Ⅰ・数Ⅱ・〔数Ⅰ・数 A〕・〔数Ⅱ・数 B〕・〔簿記・会計〕・情報関係基礎から 1 つ			
	理科 物理基礎・化学基礎・生物基礎から 2 つ, または物理・化学・生物から 1 つ			
	外国語 英語 (リーディング 50 点+リスニング 50 点)・独語・仏語・中国語・韓国語			
	国語 近代以降の文章			
	地理歴史 世界史 A・世界史 B・日本史 A・日本史 B・地理 A・地理 B・ ・公民 現代社会・倫理・〔政治・経済〕・〔倫理, 政治・経済〕から 1 つ			
			各 100 点	

○上記教科・科目の総合点により判定を行う ○一般選抜の本学で課す学力試験においては従来通り記述式問題を出題する

○一般選抜において、合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評 (配点 5 点満点) と活動報告書 (提出任意, 配点 5 点満点 詳細は下記参照) を基に、多面的・総合的な評価を加えて判定する

* 大学入学共通テストの 数学, 理科, 地理歴史・公民において 2 科目以上を受験した場合は、それぞれ高得点の科目を判定対象とする。☆印は「給費奨学生」対象入学者選抜。

■情報学部 コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻【定員15名】 入学者選抜 該当試験

【学校推薦型選抜 該当試験】

採用条件：以下の条件①②を充たす合格者を採用する。採用から漏れた場合は、「情報学部」の基準で合否判定を行う。

- ① 給費奨学生推薦で、データサイエンス専攻に出願すること
- ② 給費奨学生推薦で、**授業料 50 万円給費奨学生**に採用（他学科の受験者を含め成績上位3名以内）されること

入学者選抜種別	評価項目	時間	配点	備考
★給費奨学生推薦 【12月選考】	学力試験 数学【数Ⅰ・Ⅱ・A（場合の数と確率）・B（数列・ベクトル）】	80分	150点	高等学校（中等教育学校後期課程含む）を2023年3月卒業見込みの方が対象で、最終年次1学期（前期）までの 全体の学習成績の状況 3.5以上 が出願条件。 左記の書類審査B・Cいずれかの書類が必要。 採用枠： 授業料 50 万円給費奨学生 3名以内（最大4年間） 採用枠： 入学金 30 万円給費奨学生 10名以内（入学手続時） 採用枠から漏れた場合は原則 一般推薦もしくは自己推薦基準で合否判定 。 他大学との併願可 。左記試験科目の総合点により査定を行う（300点満点） *2 「書類審査B」において学校推薦でない場合、代わりに「書類審査C」を評価する
	学力試験 英語【コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ】	60分	100点	
	書類審査A（調査書 全体の学習成績の状況×3）	—	15点	
	書類審査B（推薦書 学力の3要素の記載内容について3段階で評価）	学校推薦者	15点 ^{*2}	
	活動報告書（指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入 詳細は中面参照）	—	20点	
書類審査C【自己推薦書（志望理由書 指定用紙に400字以内にとまとめ提出） 書類審査Bの評価がわからない場合 ^{*2} に、記載内容を3段階で評価する	自己推薦者	（15点） ^{*2}		

【一般選抜 該当試験】

採用条件：以下の条件①で出願し、②を充たした志願者の内、成績上位の者から合格者として採用する。採用された場合は**授業料 50 万円給費奨学生**となる。

採用から漏れた場合は、「情報学部」の基準で合否判定を行うが、この場合は3教科の合計得点が判定の対象となる。

- ① 前期共通テスト利用（S）若しくは（A）、または中期共通テスト利用（A）、後期共通テスト利用（A）で、必須2教科【数学、英語】と選択1教科【理科、国語、地理歴史・公民】の計3教科で出願すること
- ② 3教科の段階表示*全てが「**5段階以上**」の者。

*段階表示 大学入試センターが2023年1月20日（金）【予定】にWEBサイトで公表する科目別得点等の換算値で1～9の9段階で評価

■「科目別得点」を、「スタナイン（Stanine）」という方式を用いて、9段階に換算。

スタナインとは、分位点による区分法の一つであり、受験者を得点順におおよそ4,7,12,17,20,17,12,7,4%の群に分割し、科目別得点を得点の低い方から順に1から9の9段階に換算する方式。

■段階表示は、「科目別得点」及び「理科①」の合計点に対して行われる。

- ・「英語」についてはリーディング、リスニング別に段階表示が示されることから、いずれも5段階以上であること。
- ・「国語」は出題分野別（「近代以降の文章」「古典」「漢文」）に段階表示が示されないことから、「近代以降の文章」の得点を2倍した値を「国語」の段階表示に当てはめるものとする。
- ・「数学」「地理歴史」「公民」「理科②」において2科目以上を受験した場合は、それぞれ高得点の方の科目の段階表示を評価対象とする。

【外国語】 スタナイン見本（昨年度例）

英語（リーディング）			英語（リスニング）		
段階	点数範囲		段階	点数範囲	
9段階	94	～ 100	9段階	91	～ 100
8段階	88	～ 93	8段階	83	～ 90
7段階	80	～ 87	7段階	74	～ 82
6段階	69	～ 79	6段階	65	～ 73
5段階	56	～ 68	5段階	54	～ 64
4段階	45	～ 55	4段階	45	～ 53
3段階	35	～ 44	3段階	36	～ 44
2段階	26	～ 34	2段階	28	～ 35
1段階	0	～ 25	1段階	0	～ 27

入学者選抜種別	教科・科目	時間	判定
共通テスト利用*	共通テスト 必須教科 選択1教科	数学	数Ⅰ・数Ⅱ・〔数Ⅰ・数A〕・〔数Ⅱ・数B〕・〔簿記・会計〕・情報関係基礎から1科目の段階表示を評価
		外国語	英語（リーディング、リスニング）それぞれの科目の段階表示を評価 * 他の言語科目は不可
		理科	理科①【物理基礎・化学基礎・生物基礎】から2科目の合計点の段階表示、または理科②【物理・化学・生物】から1科目の段階表示を評価
		国語	近代以降の文章 の得点を2倍した値を「国語」の段階表示に当てはめた評価
		地理歴史・公民	世界史A・世界史B・日本史A・日本史B・地理A・地理B・現代社会・倫理・〔政治・経済〕・〔倫理、政治・経済〕から1科目の段階表示を評価
		—	各科目の段階表示全てが5段階以上であること

○上記教科・科目の段階表示により判定を行う

☆印は「給費奨学生」対象の入学者選抜 ☆印は「データサイエンス専攻」合格者のみ「年間50万円給費奨学生」対象となる入学者選抜

○活動報告書について（基本各1点、配点は選抜種別により異なる 例：配点20点の場合は評価点を4倍、50点の場合は評価点を10倍する）

次のⅠ～Ⅴの項目【評価点各1点】についての評価を行う

- 高度な技術や能力を持つ者（資格・検定）
- 社会的活動を通じて高い評価を得ている者
- 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者（発表会・コンテスト・競技会）
- その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者
- プラス評価 上記4項目の内、同一項目内に複数の違う分野での活動実績が認められる者に【評価点1点を加算】する

入学者選抜制度や給費奨学生制度に関するお問い合わせ・ご相談は、静岡理科大学 入試広報推進課 までお気軽にご連絡ください。

TEL : 0538-45-0115 mail : nyushi@sist.ac.jp



静岡理科大学の今がわかる！
受験生サイト
<https://www.sist.ac.jp/navi/>



今、理工系の研究が面白い！
ウェブマガジン
<https://in-sist.jp/>

